

広報しろう里子





0

インスタグラムも チェック !



■ LINEで 友だち登録!

編集発行

いみず野農業協同組合 総務課 富山県射水市北野1555-1 TEL.0766-52-0023/FAX.0766-52-5955 JAいみず野ホームページ https://www.ja-imizuno.or.jp/

JAいみず野 検索



July Vol.284



昨年9月より建設を進め完成したものです。で射水市戸破 十社大神宮司に斎主を務めていただき、竣工式が執り行われました。この施設は、だき、竣工式が執り行われました。この施設は、がまの生産面積拡大に伴う対策として、令和4年射水市戸破 十社大神宮司に斎主を務めていたで射水市戸破 十社大神宮司に斎主を務めていた

75名が参加しました。 式典には、来賓各位をはじめ当JA役職員ら約

可能となりました。 「一般を関するでは、老朽化した小杉大豆と米麦乾 ので従来の大豆粗選別機より精度の高い選別が ででである。また、県下初の大菱雑物除去機導 では、新たに貯留槽(50 t ビン×8基)を新 に関製施設の能力を増強させるため、両施設を は調製施設の能力を増強させるため、両施設を のでである。 では、老朽化した小杉大豆と米麦乾

様の積極的なご利用をお願いします。施設運営に努めてまいりますので、組合員の皆今後とも各営農生産施設にて効率的かつ健全な「安全・安心な農産物づくり」に寄与するため、





謝状贈





150名が出席し、 に包まれていました。 らも一生懸命に田植をする子供達の姿を地 えを行いました。厳かな儀式で緊張しなが 小学校の4~6年生32名も斎圃に入り田植 れなど執り行った後、早乙女5名が斎圃に まきして育てた苗のお祓いや斎圃での鍬入 われました。神事では、5月9日(木)に種 にて射水市献穀田協力会と地域住民など 元の方々も温かく見守り、 入り豊作を願い、太鼓の音に合わせて苗を 6月2日(日)、射水市白石の表 豊さん方 株ずつ丁寧に植えました。その後、下村 献穀斎圃御田植祭が行 和やかな雰囲気

方々は胸をなでおろしていました。 植えの間だけ雨が止み、保護者や関係者の 式典では、表 豊さんより「おいしくな 当日は雨模様の天気でしたが、 神事の田

めて育てたお米が収穫されます。 まくいきました」と挨拶されました。 9月28日(土)には抜穂祭が行われ丹精込





本人出席の総代318名、書面議決によ 水市小杉文化ホール ラポールにおいて、 代会が、5月25日(土)午後2時より射 る出席146名の合計464名の出席に いみず野農業協同組合の第24回通常総

米の品質低下に苦しんだ生産者に対し、 令和5年産米の出荷数量に対して6kg 農業資材価格の高止まりや酷暑による を上回ることができ、剰余金処分案では ついては、事業利益・経常利益共に計画 出席にお礼を述べた。令和5年度決算に と、来賓と総代各位に対して多忙の中の 地震の被害を受けられた方へのお見舞い 開会にあたり、塚本組合長が能登半島

通 常総代会 付 議 議 案

第1号議案 第24年度 金処分案承認の件 事業報告及び剰余

報告事項1 書の件 計算書、 第24年度 注記表及び附属明細 貸借対照表、 損益

第24年度 部門別損益計算書

第2号議案 第25年度 事業計画設定の件

第3号議案 定款一部変更の件

第4号議案 定款附属書 部変更の件 総代選挙規程

第5号議案 一般社団法人JAバンク・J 入の件 Fマリンバンク相談所への加

第6号議案 一般社団法人ジェイエイバン ク支援協会への入会の件

第7号議案 第25年度における理事の報酬 に関する件

第8号議案 第25年度における監事の報酬 に関する件

回る配当としたいと述べた。 あたり700円と前年度を大きく上

ため、 害箇 できたことを報告した。 利用者の生活再建に貢献することが を受けた件数3,300件余りに対し 留まったようだ。 を懸念していたが、 農業施設や圃場・用排水路 て約21億5千万円の共済金を支払し、 被害については5月中旬現在で被害 しながら対応する。また、 調に行 所が判明することも予想され 射水市・土地改良区とも連携 われており影響は最 能登半島地震の影響により しかし、 管内では田 建物等 今後、 への影響 小限 植 る 被 13

の実現を目指す」経営理念の達成に向 5月21日に竣工式を終えたことを報告 最後に小杉大豆・麦乾燥調製施設が 「地域に信頼され必要とされるJA 組合員各位の理解と協力を願うと 議案の慎重審議を願い挨拶と

ŋ



▲塚本 清組合長

来 睿 祝 辞

を披露して議事に入った。 ともに山田俊男参議院議員、 市議会産業建設常任委員長、 議会議長より祝辞を受け、瀧田孝吉富山県議会議員、 夏野元志射水市長、 永森直人富山県議会議員及び中村文隆射水市 八嶋浩久富山県議会議員他からの祝電 織田寿一射水市商工会長を紹介すると 津田信人射水

議長選出 議 特別決議

を祈念すると挨拶し議事を終了した。 米需要の減少の影響により農業を取り巻く環境は依然不透明であ 処分案、 氏を選出した後、 述べるとともに、昨年から顕著になった円安、資材価格の高止まり 部変更の件等、 おわりに議長池松氏が退任にあたり、 土合副組合長が議長の選任を諮り、 JA自己改革の 第25年度の事業計画、 当局説明の8議案を慎重審議の上承認可決された。 議長の進行により、 層の推進を期待すると共に射水市農業の発展 定款及び定款附属書 第24年度の事業報告及び剰余金 新湊南地区の総代、 円滑な議事進行への感謝を 総代選挙規程の 池松寿太郎



▲永森 直人県議会議員





▲池松 寿太郎議長



▲中村 文隆市議会議長

副組合長理恵 代表理事組合長 勤表 監監 事事事事事事事事事事事事

矢 小 駒 山 森 夏 折 森 稲 松 北 梅 島 森 小 畠 北 鈴 堀 宮 稲 堀 川 清 田 川 野 廣 臍 土 塚 野見井屋田野橋永垣本林川 野水中東尻田嶋合本 田塚中角木 原垣 昌豊秀武啓邦清玲美剛勝龍孝秀 正武正清謙 俊 裕美茂知一茂正 彦彦樹明介昭弘子雪明実男之信守志史道範次潔之修之憲幸成也夫夫清

役 員 名 簿

第24年度 業務のご報告

(1) 当該事業年度の末日における主要な事業活動の内容と成果

令和5年度は新型コロナウイルス感染症が5類に移行され国内の経済活動も活発化の兆しが見えてきた年になりまし た。令和6年1月1日の能登半島地震により射水市内でも多くの被害が発生する事態になるまでは、当JAにおいても 射水市農業産業まつりをはじめとして各種イベントや研修会等を積極的に開催し、組合員や利用者の方々との交流の機 会を増やすことができました。

農業面では梅雨時期の線状降水帯の発生やその後の酷暑等農作物にとって大変厳しい経営環境の中で、管内の米生産 においては1等米比率が例年より低い水準となりましたが県下平均は大きく上回ることができました。特産の「富山ブ ラック枝豆」は冠水の影響を一部受けましたが収量・品質とも良好に推移しております。これもひとえに生産者の皆様 の日頃のご尽力の賜と感謝申し上げます。

もみ殻を有効資源として活用するもみ殻循環プロジェクトでは、もみ殻シリカ灰肥料「シリカエールプラス」をモニ ター販売して持続可能な循環型農業の取り組みを進めてきました。今後、土壌改良資材として収量・品質向上とともに 減農薬・化学肥料削減につながる環境にやさしい肥料として地域に普及するよう注力していきます。

また事業面では、感染症対策・震災後対応等の活動を工夫しながら役職員一丸となって事業運営に取り組みました結 果、計画未達となった事業が一部ありましたが、事業利益・経常利益は計画を上回ることができました。

なお、金融機関の財務の健全性を示す自己資本比率は、16.98% (新自己資本比率算定方式)となり、当JAの財務状 況は健全であることを示しています

主な事業活動と成果については以下の通りです。

組合員の数及びその増減 **(2**)

(単位:人)

資格区分		格区分	前 期 末	当期増加	当期減少	当 期 末
	個	人	5,046	91	183	4,954
正組合員	法農事組合法人		54	4	1	57
合員	人	その他の法人	4	_	_	4
		計	5,104	95	184	5,015
准	個	人	7,505	157	268	7,394
准組合員	その他の団体		104	7	4	107
員		計	7,609	164	272	7,501
	合 計		12,713	259	456	12,516

出資口数及びその増減 (3)

(単位:口)

当 期 末
1,187,753
4,617
130
1,192,500
469,351
4,124
473,475
31,945
1,697,920

摘要:(1)出資一口金額

1.000 円

(2) 当期末払込済出資総額

1,697,920,000 円

(4) 職員の状況 (単位:人)

	区	分		前期末	当期増加	当期減少	当 期 末
_	般	職	員	144	3	9	138
営	農	指導	員	17	1	4	14
生	活	指導	員	2	_	1	1
工	場関	係 職	員	10	4	_	14
	小	計		173	8	14	167
常		傭	人	49	5	3	51
/۱۹		_	<u>۲</u>	14	1	_	15
	小	計		63	6	3	66
合			計	236	14	17	233

(5) 財務・事業成績の推移

(単位:千円) ※千円未満切り捨て

区	分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	事 業 利 益	180,423	205,689	103,807	163,458
	経 常 利 益	301,271	327,595	239,900	292,240
財 務	当期剰余金	170,369	231,753	211,507	237,946
	総 資 産	153,212,332	156,094,781	150,794,849	149,264,226
	純 資 産	9,374,055	9,538,800	9,324,194	9,199,553
	貯 金	142,011,351	144,621,235	139,390,358	138,147,720
	預 金	102,522,140	105,484,253	97,598,057	96,238,037
	貸 出 金	29,175,598	28,923,217	29,160,600	29,042,425
信用	有 価 証 券	6,432,116	6,985,678	9,237,277	9,463,421
	国 債	5,932,150	6,485,707	8,737,303	8,063,443
	その他	499,966	499,970	499,974	1,399,978
井 済	長期共済保有高	275,656,746	264,940,523	255,071,880	245,479,268
一	短期共済新契約掛金	491,071	491,374	489,281	486,544
購買	購買品供給高	3,053,704	3,019,667	2,911,404	2,949,349
販 売	販売品取扱高	2,753,612	2,298,932	2,339,975	2,754,801
保管	保管事業収益	47,708	42,229	41,283	42,019
利 用 利用事業収益		517,719	507,496	474,506	443,256
その他	その他事業収益	4,003	5,135	6,632	10,574
指 導	収 支 差 額	△ 31,304	△ 27,993	△ 25,987	△ 36,813

⁽注) 購買品供給高は総額で記載しており、損益計算書における金額とは一致しません。

資産の部

	科			E				金額
(資産	(資産の部)							
1.	信	用	事	業	資	産		135,877,340
	(1)	現				金		556,277
	(2)	預				金		96,238,037
		系	統	Ť	頁	金		96,237,947
		系	統	外	預	金		89
	(3)	有	価	誼	E	券		9,463,421
		国				債		8,063,443
		地		方		債		1,399,978
	(4)	貸	ļ	出		金		29,042,425
	(5)	その他	の信	用事	業	資産		599,041
		未	収	1	又	益		512,597
		その	り他	10	資	産		86,444
	(6)	貸倒	ij Ę]	当	金	\triangle	21,863
2.	共		事	業	資	産		2,102
3.	経			業	資	産		1,463,002
	(1)	受	取	手		形		1,850
	(2)	経 済		業 オ	€収			197,967
	(3)	経 済	受	託	債	権		750,571
	(4)	棚	卸	貨	Ž.	産		504,817
		購		買		品		504,674
		販		売		品		143
	(5)	その他						12,446
	(6)	貸倒]	当	金		4,650
4.	雑		資			産		185,964
5.	固	定		資	\/	産		3,656,900
	(1)	有 形	固	定	資	産		3,638,060
		建	4.4	Ŋ	I -1-	物		4,960,932
		機	械	3	虔	置		2,626,953
		土	÷π.	/⊏	#±1.	地		1,411,019
			設 いの:	仮	勘田立	定次立		590
		その海の						1,176,002
	(2)	減低無形						6,537,437
6.	(2) 外	無形部	固	定业	資	産 資		18,839
0.	フト (1)	外外	部	出 出	ĺ	貝 資		7,946,062 7,946,062
	(1)	2h 系	前統		-1 -1	資		7,946,062
			統統	外	出出	資		138,894
7.	繰			ット 金	資	産		132,854
								<u> </u>
資	産	の	部	É	ì	計		149,264,226

負債及び純資産の部 (単位: 千円 ※千円未満切り捨て)

	 科 目	金額						
(負債	(負債の部)							
1.	信用事業負債	138,803,451						
	(1) 貯 金	138,147,720						
	(2) その他の信用事業負債	655,731						
	未 払 費 用	39,638						
	その他の負債	616,093						
2.	共 済 事 業 負 債	445,417						
	(1) 共 済 資 金	250,254						
	(2) 未経過共済付加収入	194,277						
	(3) その他の共済事業負債	885						
3.	経済事業負債	146,973						
	(1) 経済事業未払金	138,701						
	(2) 経 済 受 託 債 務	8,270						
	(3) その他の経済事業負債	2						
4.	雑 負 債	188,789						
	(1) 未 払 法 人 税 等	30,483						
	(2) その他の負債	158,306						
5.	諸引当金	480,039						
	(1) 賞 与 引 当 金	51,031						
	(2) 退職給付引当金	405,352						
	(3) 役員退職慰労引当金	23,656						
負	債の部合計	140,064,672						
(純貨	資産の部)							
1.	組合員資本	10,019,477						
	(1) 出 資 金	1,697,920						
	(2) 資 本 準 備 金	40,499						
	(3) 利 益 剰 余 金	8,313,003						
	利益準備金	2,264,350						
	その他利益剰余金	6,048,653						
	リスク管理積立金	2,571,638						
	情報システム機能強化等積立金	299,340						
	税効果調整積立金	132,854						
	特別積立金	2,699,796						
	当期未処分剰余金	345,024						
	(うち当期剰余金)	(237,946)						
	(4) 処分未済持分	△ 31,945						
2.	評価・換算差額等	△ 819,923						
	(1) その他有価証券評価差額金	△ 819,923						
純	資産の部合計	9,199,553						
負	債及び純資産の部合計	149,264,226						

(単位:千円 ※千円未満切り捨て)

 科 目	金	(単位:千円 ※千円未満切り捨て 種
	-11/4	2,249,624
事業収益		4,823,521
事業費用		2,573,896
信用事業収益	899,915	
信用事業費用	142,192	
信用事業総利益		757,723
共済事業収益	466,545	131,123
共済事業費用	13,914	
	15,914	450 601
	2.012.200	452,631
	2,812,290	
購買事業費用	2,200,697	044 500
購買事業総利益	050 500	611,592
販売事業収益	273,538	
販売事業費用	86,653	
販売事業総利益		186,885
保管事業収益	42,019	
保管事業費用	516_	
保管事業総利益		41,502
利 用 事 業 収 益	443,256_	
利 用 事 業 費 用	217,391_	
利 用 事 業 総 利 益		225,865
その他事業収益	10,574	
その他事業費用	337	
その他事業総利益		10,237
指 導 事 業 収 入	27,416	
指導事業支出	64,229	
指導事業収支差額		△ 36,813
2. 事 業 管 理 費		2,086,165
人件費	1,315,129	
業務費	201,026	
諸 税 負 担 金	51,963	
施設費	493,156	
その他事業管理費	24,888	
事業利益		163,458
3. 事 業 外 収 益		136,041
4. 事 業 外 費 用		7,259
在 第 利 益		292,240
5.特別利益		2,284
6. 特別損失		2,152
税 引 前 当 期 利 益		
祝う」前、ヨー朔・利・益 法人税、住民税及び事業税	E2 002	292,372
	53,902	
法人税等調整額	524_	E4 400
法人税等合計		54,426
当期 剰余金		237,946
当期首繰越剰余金		106,553
税効果調整積立金取崩額		524
当 期 未 処 分 剰 余 金		345,024

(8) 剰 余 金 処 分 内 訳 (第24年度)

(単位:円)

1. 当期未処分剰余金 345,024,392 2. 剰 余 金 処 分 額 244.719.845 益 進 備 (1) 利 金 60.000.000 (2)任 意 積 立 金 100,659,819 (リスク管理積立金) 100,000,000) ((情報システム機能強化等積立金) 659,819) (3) 出 資 配 当 金 16.589.033 (4) 事業分量配 当 67.470.993 3. 次 期 繰 越 剰 余 金 100.304.547

- (注) 1. 出資配当は年1.0%の割合である。 ただし、年度内の増資及び新規加入については日割計算をする。
 - 2. 事業の利用分量に対する配当の基準は次のとおりである。 当年産米(主食用)出荷数量に対し、1 俵(60kg)あたり700円(消費税は含まない)の割合とする。
 - 3. 次期繰越剰余金には営農指導、生活・文化改善の事業の費用に充てるための繰越額 20,000,000 円 が含まれている。

JAいみず野は第18年度(平成29年度)決算より

事業利用分量配当制度を

事業利用分量配当とは、組合員 の事業利用によって生み出さ れた剰余金を、その利用分量 に応じて組合員に還元(配当) する制度です。



事業利用分量配当制度の概要

対象となる方

出資組合員

※正・准組合員を問わず、年度末(令和6年2月29日)時点で組合員の方が対象となります。 (出資名義人本人)

※今回は上記(注)2の下線部が対象となります。

第25年度 事業計画の基本方針

農業をめぐる情勢は、生産資材価格の高止まりが農業経営に大きな影響を及ぼす一方、農産物への価格転嫁は進まず、生産現場では厳しい状況が続くとみられます。JAといたしましては農業者が将来展望をもって農業生産に取り組めるよう、適正な価格形成の実現を図るとともに、需要に応じた米生産、需要拡大が見込まれる品目への作付転換に向け関係団体との連携をさらに強化し取り組んでまいります。

また、正組合員の高齢化や人手不足が深刻化する中、次世代担い手への円滑な事業継承や新規就農者に向けた支援を行い、持続可能な農業生産の実現を図るとともに、農業者の所得増大と生産拡大に向けた取り組みを進めていくことが必要となります。

JA経営においては、取り巻く環境が厳しさを増す中、今後も継続的に創造的自己改革に取り組むとともに、経営基盤・ガバナンス・内部統制の確立・強化を図りながら経営の持続性を確保していきます。

令和6年度は、「第8次中期3ヵ年計画」と「第48回JA富山県大会」の決議実践の3年目であり、組合員との対話を通じ、将来の見通しを踏まえて策定した効率化戦略・成長戦略を着実に推し進め、持続可能な経営基盤の確立・強化に取り組んでまいります。

1. 持続可能な食料・農業基盤の確立

- (1) 担い手経営体の多様なニーズに対応した総合事業提案の強化
- (2) 需要に応じた生産・販売と水田フル活用
- (3) JA農産物直売所等による付加価値の増大と新たな需要開拓
- (4) 生産トータルコストの低減

2. 持続可能な組織・事業基盤の確立と地域の活性化

- (1) 組合員との「アクティブ・メンバーシップ」の確立
- (2) 総合事業を通じた生活インフラ機能の発揮

3. 不断の自己改革の実践を支える経営基盤の強化

- (1) 将来見通しをふまえた経営計画の策定・見直し
- (2) 経営の健全性確保とガバナンス・内部統制の強化
- (3) 「第3次富山県 J A 人づくり運動方針」に基づく協同組合としての役割発揮を支える 人づくり
- (4) 自己改革を支える事業展開

4. 「食」「農」「地域」「JA」にかかる理解醸成に向けた取り組みの強化

- (1) 経営戦略の重要な柱と位置付けた広報活動の強化
- (2) 農政運動の強化
- (3) 国産・地元産農産物の消費拡大
- (4) 准組合員・地域住民等への協同組合の理解醸成にかかる取り組みの強化

ŋ

×

回定例 理事会

場所:射水市小杉文化ホール ラポール 研修室1日時: 令和 6 年 5 月25日(土) 午後 4 時より

第二号議案 一号議案

第三号議案 事

共済規程の一 監事報 酬

部変更につい の配分につい

て協議し、 金利設定会議設置要領の一 大口貸出金の条件変更につい 全議案が承認されました。 部変更につい

第四号議案

以上につ

7

上について、 大口貸出金の実行報告について 報告されました。

JA財務モニタリング

の農林中央金庫への報告に

4月末実績につ

令和6年度第2四半期における余裕金運用

計画に

0 0

19 田

第一号議案 協議事項 監事報 酬 の配 記分につ ': 令和6年5月25日(土) 午後4時より : 射水市小杉文化ホール ラポール

以

上につい

て審議し、

全議案が承認されました

以上について、

報告されました。

JA財務モニタリングの農林中央金庫への報告につい

長期共済保有高2,439億76百万円 (△92億48百万円) 10億87百万円 64 百万円) 1億91百万円

39 百万円)

5.011 人

(△ 95人)

7.520 人

(△ 117人)

6億72百万円)

(△ 4億69百万円)

*()内の数字は前年同期比

購買品供給高

販売品販売高

協同の力

JAいみず野概況

(令和6年5月末日)

みなさまの貯金高 1,395 億 84 百万円

みなさまへの貸出金 287 億 16 百万円

 $(\triangle$

 $(\triangle$

正組合員数

准組合員数

厚生連高岡健康管理センターからのお知らせ

PET/CT検診のすすめ

啓子 放射線科 絹谷 診療部長待遇

2人にひとりが罹患して、3人にひとりが命を失うがん。 元気な時には健康の大切さを忘れがちですが、がんに対処する ために早期発見・早期治療が大切です。

がん細胞は、正常細胞と比較して約3~8倍のブドウ糖を 摂取する性質を持っています。

この性質を利用してがんの部位や広がりを調べるPET検診を受けてみませんか?

頭部から大腿部までの写真を一度に連続して撮影します。待機時間があるので帰宅までに約3時 間かかりますが、広く明るい場所で撮影する、痛みの少ない検査(静脈注射のみ)です。

ただし、PETは万能ではありません。がんの種類によって数センチの病変でもPETの薬が集まら ないことがあります。おとなしいがん、密度が低いまばらながん、だれでも薬が集まる臓器(脳・ 肝臓・腎臓・膀胱など)に発生したがんなども見つけにくいとされています。ほかの検診と組み合 わせて体の状態を調べることが重要です。炎症にも薬が集まることがあるので、別の検査を追加し て病気の診断をする場合もあります。

検査当日は6時間前から食事を控え、糖分が含まれる飲み物も飲まないでください。

糖尿病の方は、検査当日の朝からインスリン注射や糖尿病の内服薬の中止が必要となります。

詳しい注意事項は検査前に対面にて説明を聞くことができます。

この機会にご自分や大切なご家族のお体を一度PETで調べてみませんか?

検査日時 水曜・金曜 午後1時30分

88,000円(税込) J A 組合員、職員の方 93,500円(税込)一般の方

予約受付・お問い合わせ先

厚生連高岡健康管理センタ (厚生連高岡病院3階)

電話 0766-21-3930 (内線 3913)



いみず野だより

平日午後に お気軽に お問い合わせ

女性部だより

ミニトマト栽培

支店倉庫内での実習になりま 前日まで20℃越えの暖かな 前日まで20℃越えの暖かな が続いていたのに当日は 日が続いていたのに当日は 日が続いで風もあり、急遽南郷 と店倉庫内での実習になりま

しく植え付けしました。水は員達の経験談を聞きながら楽て10㎝前後の苗をベテラン部鉢底石を敷き、培養土を入れ

成長しました。 現在1ケ月位が経ち2㎝強にから流れ出るほど入れました家に帰ってからたっぷりと底

家庭菜園青空

教室』の開催

作った「作品」は最高ですよね。 作った「作品」は最高ですよね。 がんだん少なくなってきていた野菜は家で作ったものとはを野菜作りに挑戦して楽しんで りいたいと思うので、プランターでも作れるきゅうり、な ターでも作れるきゅうり、な マーでも作れるきゅうり、な ちらいたいです。 曲がってい おういたいです。 曲がっていても 傷ついていても 自分で でも 傷ついている といった 「作品」は最高ですよね。

した。
十数名の参加者が集まりまださった大森さんの菜園に、会場として快く提供してく

を進められました。定番のナ産課長の岡本さんが順に解説ところを、講師として園芸特とのな野菜苗が並んでいる





陽射しの下、小杉支部恒例の

5月23日(木) 真夏のような

『家庭菜園青空教室』を開催し

聞き入っておられました。関き入っておられました。の皆さんも、感心して熱心にの皆さんも、感心して熱心にのいただきベテランの参加者のいただきベテランの参加者のいただきベテランの参加者のいただきベテランの参加者のいちがある。

(南郷支部

果的であることも伺い、気候方にたっぷり与えるほうが効が最大の厳しい点で、日中のいわれる夏の畑には、水やりいわれる夏の畑には、水やりいかれる夏の畑には、水やりいかれる夏の畑には、水やりいかれる夏の畑には、水やり

これまでの経験に加え、さ大切だと感じました。

に際してご協力ありがとうご藤さん、皆川さん、この行事がお支店の寺西支店長、須楽しみになることでしょう。いしい野菜の収穫がますますいしい野菜の収穫がますますいしい野菜の収穫がますますがまでの経験に加え、さ

小杉支部



今後の日程

7月2日(火)助け合い組織定例会8日(月)健康教室9日(火)~11日(木)生活座談会(酢の活用)17日(水)ほっとサロン(若村)19日(金)手芸教室19日(金)手芸教室25日(木)料理教室

31日(水) ちゃぐりん大会

体質なりの

稲づくりが行われました。 今年も射水市内の小学校で、子供た今年も射水市内の小学校で、子供た

またしています。おうことを目的としています。れているかを体験してもらうことで、れているかを体験してもらうことで、日口にしているお米がどのように作ら

楽しむ姿がとても印象的でした。ました。自然に囲まれた環境の中で、いきいきとした笑顔で田植えを体験しいきいきとした笑顔で田植えを体験しました。自然に囲まれた環境の中で、第に泥の感触を楽しめるようになり、のは初めてということで、田んぼに恐いたらけになりながら元気いっぱい。

楽しみしていることでしょう。子供たちは、自分が植えた稲の成長を秋には、稲刈りを体験する予定です。





















ADTOBISE











024





様向け体験イベー 「プロワを使った

ミニアトラクション」



県内高校の 生徒さんが育てた



農業

9:30~16:00

9:30~15:00

富山産業展示館 デクノホール 富山市を杉1682

・// 富山県JAグループ/JA全農とやま



小型農機から大型農機 中古農機まで一堂に展示

